

1/2(土) まいど! 倫理号です。毎日... 元気が 続くと 仕事も 捗ります。  
そうなんです。相手を 変えよう。自分が 変れば... 人が... 実践 (204) (10)

## 享て運ぶアホー息

2022. 11. 12~11. 18

今週の

倫理

11月のテーマ | 学ぶ楽しさ

1307号

倫理法人会には学びの場がいくつもありますが、そこで見聞きした内容を覚えるだけでは、「真」の学びにはなりません。

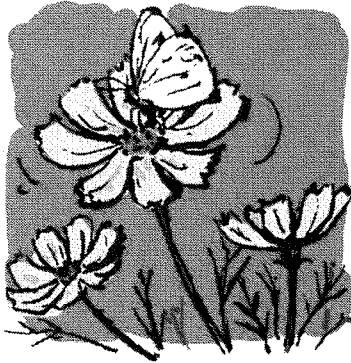
Aさんは、倫理法人会に入会以来、純粹倫理の学習の場があると聞けば、熱心に足を運んでいました。その度に「純粹倫理の学びは素晴らしいと思うけど、あの人はダメだ」と所属する単位倫理法人会（以下、単会）のB会長を非難していたのです。

やがて新設単会の専任幹事に就いたAさんは、会の発展のためにと、様々な提案をしますが、会長と意見がかみ合いません。「会長は私の提案を分かってくれない。なぜ、反対するんだ。B会長はおかしい」と、不満を漏らすようになったAさん。

B会長の発言に対して、ことあるごとに文句を言うようになったのでした。また、自ら経営する会社にも倫理経営を導入したものの、業績は低空飛行を続けていました。

ある日、講師を送迎中のAさんは車中で、倫理を学ぶことへの意欲と、B会長への不満を述べました。講師は移動中、「そうなんですか」「あなたはそう思うのですね」とAさんの言うことをそのまま受けとめていました。ところが、会場へ着いた直後、講師はAさんに「あなたは純粹倫理を学んでいますか」とたずねました。Aさんは「ハイ」と即答しましたが、同時に「なぜ今さら、そんな質問を...」と思ったのでした。

講師は少し間を置いてから、「もう一度考えてみてください」と静かな口調で述べました。そして、『万人幸福の葉』の「人は鏡、



## まずは自分が変わる 自己変革こそ真の学びである

万象はわが師の一節を紹介したので、人を改めさせよう、変えようとする前に、まず自ら改め、自分が変ればよい。

（『万人幸福の葉』四十一頁）

講師は「あなたはB会長を変えようとしてばかりではないですか。あなたは『葉』を読んでいるだけです。『人は鏡』ではないのですか？ それで純粹倫理を学んでいると言えますか」とピシャリと言いました。

ハツとしたAさんは「純粹倫理をどう学んだらよいのですか」と質問しました。すると、講師は「実践あるのみです。まずは自分が変わることで」と即答しました。率直に告げる講師の言葉に信念を感じたAさんは、実践することを決心しました。

数日後、単会の役員会が開催されると、これまでになく会議が円滑に進みました。「今日からはB会長にすべて合わせよう」とAさん自身が変わる決心をすると、それに呼応するかのようになり、B会長の言動が一変したのです。それからは、単会、会社、家庭の中で実践していくと、『葉』に書いてあることは、こういう意味だったのか」と思うことが増えていったのです。

人を改めさせようとする前に、まずは自分が変わることの大切さを学んだAさん。真の学びの楽しさを知ったことで、「実践こそ純粹倫理の醍醐味である」と周囲に、伝えるまでになりました。

Aさんは現在、「人は鏡、万象はわが師」を実践の道標として、自己を変革し、さらなる真の学びを追究しています。